

横浜市立図書館アクションプラン

これからの図書館の方向性を示す計画を策定（平成23年策定）

「横浜市立図書館アクションプラン」（以下「アクションプラン」という）は、「横浜市中期4か年計画」及び「横浜市教育振興基本計画」（ともに平成22（2010）年度策定）と連動し、質の高い図書館サービスの提供を図るための行動計画として、平成23（2011）年1月に策定されました。これは平成22（2010）年度から26（2014）年度までの5か年の具体的な取組を17の項目としてあげたものです。これらの達成のため、毎年図書館では「横浜市立図書館の目標」を設定し、年度末にはその達成状況を振り返ってきました。平成25（2013）年度にはそれぞれの具体的な取組の達成状況を検証し、アクションプラン中間振り返りを行いました。これは平成26年度に実施する、次期アクションプラン策定に向けた準備の一つであり、横浜市の図書館サービスの今後の方向性を明らかにするために不可欠な作業です。

図書館や出版を取り巻く状況はアクションプラン策定後も刻々と変化しています。次期アクションプランの策定の際にはそれらの社会的状況を考慮し、また市民から寄せられる要望も参考にしながら、市民が必要とする資料・情報の提供を通じて市民生活を支援する、地域の情報拠点としての役割を果たすための取組を進めていきます。

17の具体的な取組項目

◎印は重点項目です

● 司書の専門性を発揮したサービスの進展	● 効率的で効果的な図書館の管理運営と環境整備
◎蔵書再構成5か年計画の策定・実施 ◎子ども読書活動の支援・学校との連携 ○市民の学習活動・課題解決の支援 ○地域情報の収集・提供の推進 ○地域と連携した読書推進活動の充実 ○多文化サービスの展開 ○市民協働の推進	◎司書人材育成計画の策定と人材育成の推進 ○次期図書館情報システム導入に向けた検討 ○指定管理者による運営状況の検証・評価 ○一部地域図書館の司書補助業務委託の導入 ○地域図書館の管理運営手法の総合的検討 ○自主財源の確保及び経費の節減 ○市民の意見が反映される仕組みづくり ○身近で便利な図書館サービスの充実の検討 ○図書館の設備改修・改善や耐震補強 ○市立図書館における業務内容の見直し

アクションプランを基にした計画

名称	内容
蔵書再構成5か年計画 （平成23年3月策定）	・蔵書の分析と補強 ・新たな収集方法の検討 ・地域情報の収集方法の検討 ・電子書籍などの新しい情報媒体の検討 ・資料管理の課題解決
横浜市立図書館児童サービス5か年計画 （平成23年3月策定）	・子どもの主体的な読書習慣の育成を図る ・家庭、保護者への支援計画 ・学校・施設、教職員・ボランティアへの支援計画
レファレンスサービス向上プログラム （平成23年9月策定）	・市民の自主的な調査研究活動を支援 ・主題別・対象者別の課題解決要求に対応 ・横浜の地域特性を基盤としたレファレンスサービスの推進
図書館の目標 （毎年年度末策定）	全体目標と各課・館の目標を策定・公表し、翌年度に振り返りを実施